

ひまわり

札幌市立幌北小学校ひまわり分校
札幌市立北辰中学校ひまわり分校
学校だより

令和6年12月 9日

第33号

かけ算九九（子どもは、頑張って習得に励んでします！）

小学校の算数では、たし算、ひき算を学習し、小学校2年生の後半に「かけ算」の学習を行います。「かけ算九九をマスターする。」ことは、小学校の算数ではとても大切なことです。かけ算九九を唱えて、一生懸命に覚えようと励む子どもの姿を見たことがある人は多いと思います。かけ算九九を覚える以外にも、「数のまとまり」は「1つ分の数」と「いくつ分」を用いて、かけ算の式に表すことを学びます。

（数のまとまり＝「1つ分の数」×「いくつ分」→例えば、 $3+3+3+3+3 \Rightarrow 3$ が5個あるので 3×5 と書けます。このとき3が1つ分の数、5がいくつ分に値します。）このようかけ算の式に表すことで、たし算の式が簡略化され、文章問題等の意味理解につながることを学びます。

また、かけ算九九の学習順番について小学校の教科書では、5の段→2の段→3、4～9の段→1の段と順番で学習が進んでいきます。最初に、5の段を扱い、次に2の段を扱います。これは、2とび、5とびの数え方などの子どもたちの生活経験を生かすことができるからとされています。また、基準量がはっきりしやすい5の段で、積の一の位が5と0の繰り返しになるため、子どもにとって考えやすく抵抗が少なく、5の段の学習から始まるのが一般的とされているのです。

学習が6の段以降になると、「難しい…」と感じる子どもたちが増えてきます。これは、かけ算がわからないとき、頭の中でたし算で数をして答えを求めますが、6の段以降は「答えの数字が大きくなり累加していくのに時間がかかることや、暗唱にも数字が大きくなるために覚えきれなくなる。」とされています。6の段以降のかけ算九九については、実は、5の段までの学習でヒントを掴んでいるのです。

例えば、 $6 \times 5 = 30$ ならば、「かけられる数」と「かける数」をひっくり返して（ $5 \times 6 = 30$ ）も答えは同じになります。ひっくり返しても答えは同じという仕組みを子どもたちは学習しているので、そのかけ算の特性を使えば6～9の段までも理解しやすくなり、苦手な段についても教科書に記載されている図と数を照らし合わせながらコツコツと継続的に学習すると習得できます。皆さんは、かけ算九九をどのようにして覚えられましたか。

韓国って、楽しそう！

交際交流員のヤン・スーミンさん（韓国）が来校していただきました。スーミンさんは韓国の民族衣装（韓服）：ハンボクを着てくれたので子どもたちもみただけで、「韓国の人だ！」と分かります。（ハンボクは、胸の位置で服を留めるところがあり、日本の着物と違って締め付けがないので着やすいんですよ。と教えてくれました。）日本の隣にある韓国ですが、スーミンさんのお話は、興味を引く内容でいっぱいです。食事の話、キムチの話、学校の話など、日本と似ているけど違うところや「おお、すごい！」と感心するところなど、素晴らしい文化が韓国にあることが分かりました。また、スーミンさんの日本語の上手さにも感動しました。

後半は、二枚の折り紙で、韓国の民族衣装：ハンボクを折ります。分校の子どもたちは、色や模様の異なる折り紙で、かわいらしいハンボクを作ることができましたよ。

